平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年　8　月　4　日　（日）

会場　　多賀中学校体育館

【女子の部】　　第　3　日目　　Dコート　　第　2　試合

チームA			チームB
昭和学院	88	23 1Q 26 30 2Q 8 25 3Q 10 10 4Q 23 OT	67	実践学園
千　葉			東　京

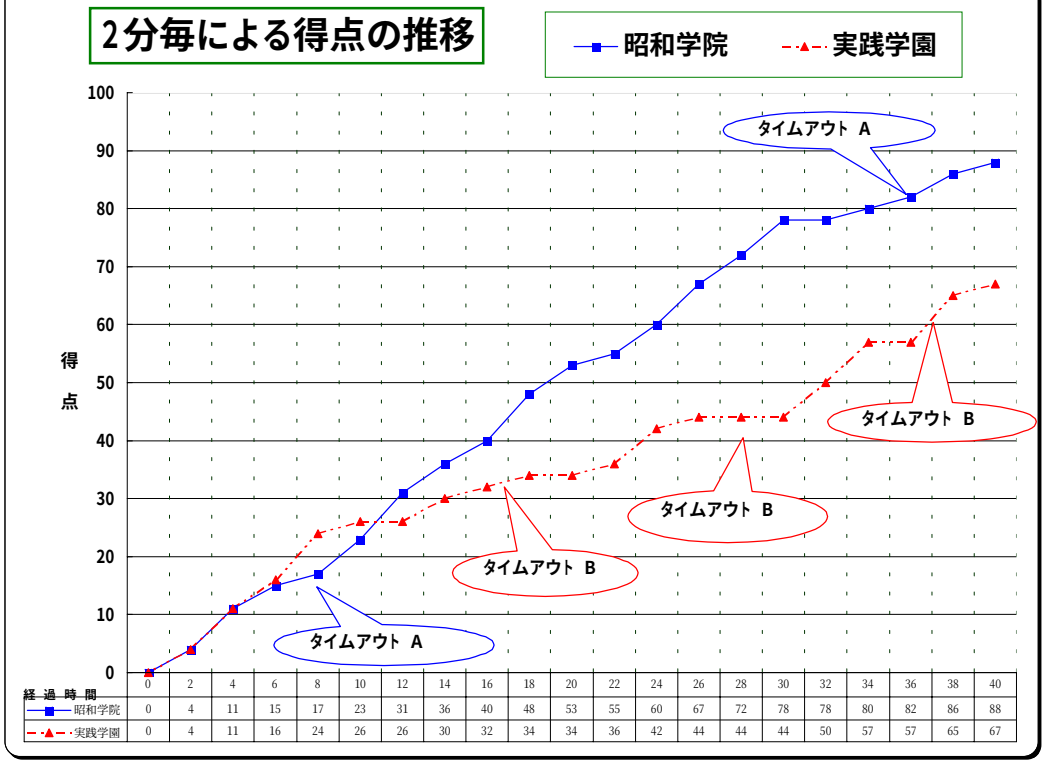
昭和学院

	番号	氏　名	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	1P 成功	1P 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
◎	4	南田　彩花	6	0	2	3	8	0	2	0	0	2	0	2	6	0	40
	5	信田　真澄															DNP
	6	馬場麻紗美															DNP
	7	増田　莉沙															DNP
◎	8	野村　由希	17	0	2	7	17	3	7	2	7	3	0	1	1	0	39
○	9	浦邉かおり	14	2	3	3	4	2	2	1	0	1	0	4	2	1	26
◎	10	鈴木麻友美	23	2	2	7	10	3	5	2	4	3	3	0	3	2	37
◎	11	伊藤　奈月	16	2	2	5	9	0	2	2	2	2	2	2	1	1	27
◎	12	原田　綾子	12	0	0	3	7	6	7	1	0	2	0	0	1	0	31
	13	登藤　香織															DNP
	14	上野　貴代															DNP
	15	岡野佳麻里															DNP
	コーチ	鈴木　親光								0							
			88	6	11	28	55	14	25	8	13	13	5	9	14	4	200
			確率	54.5%		50.9%		56.0%			計	26					

実践学園

	番号	氏　名	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	1P 成功	1P 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
◎	4	須藤　迪子	6	0	2	3	6	0	0	3	0	0	1	1	1	0	29
◎	5	篠原　　環	7	1	6	2	4	0	0	3	0	1	0	0	1	0	23
○	6	長谷川梓澄	4	0	0	2	5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	11
○	7	平山　絵里	8	0	0	4	7	0	0	3	1	1	0	0	0	3	11
○	8	井口菜央子	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	11
◎	9	乙顔　華子	11	1	3	4	8	0	0	4	1	0	1	1	3	0	27
◎	10	水田　麻季	10	0	0	4	13	2	2	3	2	2	0	0	0	0	18
◎	11	佃　　夏子	19	1	3	8	13	0	0	1	2	0	1	1	2	1	29
○	12	竹原　麻理	0	0	2	0	2	0	0	1	1	2	0	0	0	0	10
○	13	伊勢崎真衣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
○	14	森本　綾香	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	9
○	15	池田　　桂	0	0	0	0	2	0	0	2	0	3	1	1	0	0	13
	コーチ	村松　啓三								0							
			67	3	17	28	63	2	2	22	7	10	5	6	8	4	200
			確率	17.6%		44.4%		100.0%			計	17					

2分毎による得点の推移



戦評

体格的にはほぼ互角のこの関東対決は、双方共マンツーマンでスタート。第1P、スピードで上回る実践は、ハイポストからの攻撃を多用する。＃11佃、＃7平山のミドルシュートを中心に得点を重ねる。一方、高さで多少上回る昭和は＃10鈴木、＃12原田のポストプレーを中心に攻撃を展開。23-26の実践リードで第1P終了。

第2P、昭和が大爆発。昭和のしつこいディナイディフェンスに実践はミスを連発。そこからの速攻というパターンに加えて、オールラウンダーの一年生、昭和＃11伊藤の中外を問わない大活躍で一気に実践を突き放し、53-34、第2Pだけでみると30-8で、前半終了。

第3Pに入ると、昭和も足がにぶくなり始めるが、ディフェンスリバウンドからの速攻、＃10鈴木の中外を問わないシュート、＃9浦辺の3Pシュートなどで、更に実践を突き放す。実践も＃9乙顔の個人技、＃4須藤のカットインで活躍を見出そうとするが、差を縮めるまでには至らない。

第4P、実践は＃9乙顔の個人技、＃5篠原の3Pシュートで追い上げるが、昭和のゴール下は最後まで安定しており、最後までディフェンスリバウンドをとり続けた。実践は最後にメンバーを全て1、2年生に代え、オールコートマンツーマンを仕掛けてきたが、結局88-67で、昭和が明日の準々決勝に進んだ。

主　審	山崎　人志

副　審	岩木　太郎

記入者	田原　司郎